

第50期  
第2四半期

# 株主通信

2017年4月1日～2017年9月30日  
証券コード：7775

安心徹底管理！  
大研医器の  
新アSEMBリーセンター  
を紹介します。

**VOL.5** 和泉事業所

Open the Medical Frontier  
 **COOPDECH**



# 原点回帰の改革を断行し、 更なる飛躍を目指します

代表取締役社長 山田 満



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第50期第2四半期の業績は、主力の吸引器、特に病棟用のキューインポットが好調に推移した結果、売上高は42億34百万円(前年同期比1.3%増)、主として減価償却費及び研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加した結果、経常利益は8億33百万円(前年同期比2.5%減)、主として固定資産除却損及び50周年記念行事費用が特別に発生した結果、四半期純利益は5億11百万円(前年同期比18.4%減)となりました。

医療機器を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、病院内感染や医療事故防止対策の推進により国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

しかしながら、規制緩和による国内外の新規、既存メーカーとの競争激化や製品の品質、有効性及び安全性の確保等に要するコストも増加しており、依然業界を取り巻く

事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、社会貢献こそ当社の使命という原点に回帰し、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動を強力に推進し、新製品の早期実現を徹底してまいります。とりわけ高齢化社会の伸展により拡大する在宅医療分野を新たな市場としてターゲット化する等、明確なビジョンを持ち、ニーズを模索するだけでなく、新たにニーズやマーケットを創造するオンリーワン企業を目指します。

第50期の業績予想といたしましては、売上高86億円(前期比2.4%増)、経常利益15億50百万円(前期比9.6%減)、当期純利益10億30百万円(前期比17.3%減)を計画しております。なお、株主の皆様への中間配当金につきましては、1株あたり9円とさせていただきます。

今回ご紹介するのは、大研医器独自の製品コンセプトを実現するために、製造ラインの大部分が自社設計された「アSEMBリーセンター第2工場」です。

今年7月から順次・順調に稼働しております

研究開発棟と隣接しており  
さまざまな製品の  
組立・製造を行っています



## アSEMBリーセンター第2工場

大研医器のマザー工場です。

私たちは、患者様やドクターを主とした医療従事者の方々のために最良の製品を造ることを最優先し、製品を造るための環境までも一貫してデザインすることが必要だと考えています。また、精密かつ安全性の高い製品を安定して供給できるよう、製造現場では常に改善を重ね、より良い生産ラインへと進化させています。



## ② 物流動線の整流化

製品完成まで一本化された工場レイアウトを導入しています

滅菌装置の仕様としては製品投入扉と取出扉をそれぞれに分け、製品物流動線の整流化を図り作業の効率化、異種混在等の事故防止を図っています。

## ① 安全管理の徹底

### 工場のクリーン化と環境への取り組み

製造工程における滅菌方法は高い浸透力と低温でも効果を発揮するエチレンオキサイドガス(EOG)滅菌方法を採用しています。また当社では、規制要求事項が制定される以前からEOG大気放出量の最小化に取り組んできた経緯があり、従来の触媒燃焼式処理装置に加え新たに最新のスクラバー式処理装置を活用、大気中へのEOG排出量を限りなくゼロ化することを維持しております。このように当社では環境面に対しても最大限配慮しながら生産活動を行っております。

## 防虫対策

- 大空間である倉庫の出入口に強風で虫の侵入を防ぐ「バグシャッター」を採用しています。
- 外部との境界線には二重扉の緩衝室を有し、緩衝室は室内圧を高くするとともにUVカットした照明を使用、窓ガラスには虫が嫌うミラーフィルムを採用しています。

## 異物対策

- 実際製造を行うクリーンルーム内への持ち込み異物を削減するため、「体毛落下防止制服」「眉まつ毛用掃除機」「除電カーテン」「落下異物再付着防止機能を持つ洗浄通路」等、さまざまな対策を実施しています。
- クリーンルーム内部の床は、製品への静電気の帯電を防止し、異物付着を低減するため、全面導電床を採用しています。



エントランス併設の製品展示スペース

## ③ 魅せる工場

社内環境にも配慮したインフラを整えています

### エントランス

「過去から未来」をコンセプトに当社の沿革、各種製品を展示しています。

### 休憩室・会議室

「質の高い製品は質の高いスタッフから生まれる」との考えから、コミュニケーションを活発にする新機軸な会議室やリラックスクスできる雰囲気を持つ休憩室を完備しています。

## 第2四半期財務諸表(要旨)

### 貸借対照表(単位:百万円)

科目	前第2四半期末 (2016年9月末)	当第2四半期末 (2017年9月末)	前事業年度 (2017年3月末)
<b>○資産の部</b>			
流動資産	6,199	<b>6,413</b>	6,290
固定資産	4,108	<b>4,640</b>	4,717
有形固定資産	3,892	<b>4,444</b>	4,505
無形固定資産	56	<b>53</b>	61
投資その他の資産	159	<b>141</b>	149
資産合計	10,308	<b>11,053</b>	11,007
<b>○負債の部</b>			
流動負債	2,601	<b>3,131</b>	3,202
固定負債	837	<b>1,460</b>	525
負債合計	3,438	<b>4,591</b>	3,728
<b>○純資産の部</b>			
株主資本	6,863	<b>6,456</b>	7,272
資本金	495	<b>495</b>	495
資本剰余金	505	<b>400</b>	505
利益剰余金	6,372	<b>6,402</b>	6,781
自己株式	△510	<b>△843</b>	△510
評価・換算差額等	0	<b>—</b>	1
その他有価証券評価差額金	0	<b>—</b>	1
新株予約権	5	<b>5</b>	5
純資産合計	6,869	<b>6,461</b>	7,279
負債純資産合計	10,308	<b>11,053</b>	11,007

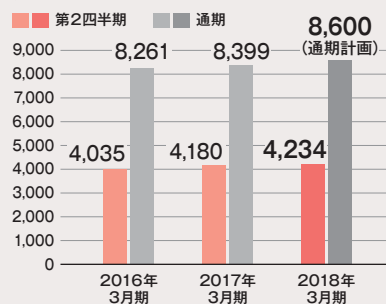
### 損益計算書(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	当第2四半期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	前事業年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
売上高	4,180	<b>4,234</b>	8,399
売上原価	1,983	<b>2,052</b>	3,991
売上総利益	2,197	<b>2,181</b>	4,408
販売費及び一般管理費	1,343	<b>1,348</b>	2,696
営業利益	853	<b>833</b>	1,711
営業外収益	3	<b>2</b>	7
営業外費用	2	<b>2</b>	3
経常利益	854	<b>833</b>	1,714
特別利益	1	<b>5</b>	2
特別損失	7	<b>124</b>	19
税引前四半期(当期)純利益	849	<b>714</b>	1,697
法人税等	222	<b>202</b>	451
四半期(当期)純利益	626	<b>511</b>	1,246

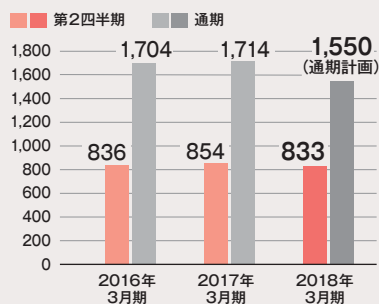
### キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	当第2四半期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	前事業年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	583	<b>530</b>	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140	<b>△542</b>	△603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479	<b>△39</b>	△729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36	<b>△52</b>	17
現金及び現金同等物の期首残高	2,302	<b>2,319</b>	2,302
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,266	<b>2,267</b>	2,319

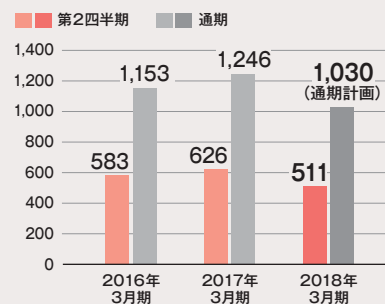
#### 売上高(単位:百万円)



#### 経常利益(単位:百万円)



#### 当期純利益(単位:百万円)



## 会社データ/株式情報

### ■ 会社概要 (2017年9月30日現在)

社名	大研医器株式会社
設立	1968(昭和43)年11月5日
	代表取締役社長 山田 満
従業員数	190名
本社	〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
業種	医療用機械器具製造販売、医療用機械器具輸出入

### ■ 役員一覧 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	山田 満	社外取締役	古賀 義久
取締役	山田 圭一	社外取締役	大工舎 宏
取締役	山田 雅之	常勤監査役	上原 康司
取締役	柳堀 真司	社外監査役	岩城 本臣
		社外監査役	北山 涼一

### ■ 株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	103,360,000株
発行済株式の総数	31,840,000株
株主数	12,800名

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
単 元 株 式 数	100株
公 告 の 方 法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.daiken-iki.co.jp/">http://www.daiken-iki.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 京阪神御堂筋ビル14F  
TEL:06-6231-9901(代表) <http://www.daiken-iki.co.jp/>

大株主	持株数(株)	持株比率(%)
山田 圭一	5,877,760	19.60%
山田 満	5,433,880	18.12%
山田 雅之	2,595,360	8.65%
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,085,400	3.61%
山田 米子	1,068,720	3.56%
公益財団法人山田満育英会	700,000	2.33%
BBH FOR MATTHEWS ASIA GROWTH FUND	596,000	1.98%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	354,200	1.18%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	341,500	1.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	332,100	1.10%

※当社は、自己名義株式を1,849,257株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己名義株式を控除して計算しております。

### ■ 株主分布状況

所有者別分布状況	株主数(名)	株式数(株)	百分率(%)
金融機関	22	2,000,500	6.29%
金融商品取引業者	39	322,976	1.01%
その他の法人	58	1,239,600	3.89%
外国法人等	67	2,693,010	8.46%
個人・その他	12,613	23,734,657	74.54%
自己名義株式	1	1,849,257	5.81%
合計	12,800	31,840,000	100.00%